

大項目	(1) 子育ての支援
中項目(1)	1. 本市は、子どもの健やかな育ちを支援するため保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、及び協働し、次に掲げる施策を実施します。
中項目(2)	(1) 子どもが安全に安心して過ごすことができる居場所づくり
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実施計画	R2年度以降取り組み方針
①中央児童館の活用	子育て支援課	延べ利用人数11,536人(内訳 任意利用 6,730人 行事・イベント 2,282人 クラブ活動 2,195人 ジュニアリーダー養成研修会 329人)	延べ利用人数12,582人(内訳 任意利用 7,555人 行事・イベント 2,897人 クラブ活動 1,750人 ジュニアリーダー養成研修会 380人)	市内1か所で各種子育て支援サービスを継続して実施する。	継続して実施する。
②放課後子ども教室の充実	社会教育課	全小学校区において実施。(定員300人) 放課後児童クラブとの一体化事業を2小学校区において実施(東・高台寺)	全小学校区において実施。(定員305人) 放課後児童クラブとの一体化事業を4小学校区において実施(東・西・南・高台寺)	全小学校区において実施。放課後児童クラブとの一体化事業を実施。	継続して実施する。
③放課後児童クラブの充実	子育て支援課	市内8クラブで実施。登録児童数 350人 耐震基準を満たしていない施設について1か所整備を行った。(西こどもの家)	市内8クラブで実施。登録児童数 348人 耐震基準を満たしていない施設について1か所整備を行った。(北こどもの家)	市内8か所で放課後児童健全育成事業として継続して実施する。	継続して実施する。
④長期休暇期間の小学生の居場所の提供	子育て支援課	募集定員120人(内訳 児童館60人 西小30人 蛭間小30人) 夏休み121人(内訳 児童館60人 西小27人 蛭間小34人) 春休み106人(内訳 児童館60人 西小19人 蛭間小27人)	募集定員120人(内訳 児童館60人 西小30人 蛭間小30人) 夏休み132人(内訳 児童館61人 西小35人 蛭間小36人) 春休み126人(内訳 児童館61人 西小31人 蛭間小34人)	実施場所を中央児童館及び4小学校へ拡大し、受入児童の定員を拡大して実施する。	継続して実施する。
⑤学校体育施設の開放	社会教育課	市内小・中学校の体育施設を開放。H29年度登録実績:44団体1,039人登録	市内小・中学校の体育施設を開放。H30年度登録実績:47団体1,073人登録	継続して小・中学校の体育施設を開放し、スポーツ活動の拠点を提供する。	継続して実施する。
⑥児童科学館の活用	社会教育課	常設展示やプラネタリウム上映だけでなく、星空教室や工作教室などの各種事業を実施し(延参加者526人)、施設利用を通じて子どもの安全・安心な居場所を提供した。	常設展示やプラネタリウム上映だけでなく、星空教室や工作教室などの各種事業を実施し(延参加者650人)、施設利用を通じて子どもの安全・安心な居場所を提供した。	常設展示やプラネタリウム上映だけでなく、星空教室や工作教室などの各種事業を実施し、施設利用を通じて子どもの安全・安心な居場所を提供する。	継続して実施する。
⑦図書館の活用	社会教育課	通年での読み聞かせ会やクリスマス会等の各種事業を実施し(参加者及び登録者:計2,704人)、子どもが読書に親しむだけでなく、安心・安全な居場所を提供した。	通年での読み聞かせ会やクリスマス会等の各種事業を実施し(参加者及び登録者:計2,880人)、子どもが読書に親しむだけでなく、安心・安全な居場所を提供した。	年間を通して各種読み聞かせ会や季節の事業を実施し、施設利用により子どもに安心・安全な居場所を継続して提供していく。	継続して実施する。
⑧ふくしくん広場の充実	福祉課(社協)	未就学児親子を対象に、おもちゃ遊びを通じ子ども同士、親同士の交流の場を提供する ・開催回数:月1回、年間計12回 ・延べ利用人数:225名 (内訳:大人68名 子ども81名 ボランティア76名)	未就学児親子を対象に、おもちゃ遊びを通じ子ども同士、親同士の交流の場を提供する ・開催回数:月1回、年間計12回 ・延べ利用人数:287名 (内訳:大人104名 子ども120名 ボランティア63名)	H30年度実施したアンケートを活用し、利用者増加のための工夫をしながら継続して開催する。	SNSはじめ、ホームページ等を活用して、情報発信を強化する。

大項目	(1) 子育ての支援
中項目(1)	1. 本市は、子どもの健やかな育ちを支援するため保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、及び協働し、次に掲げる施策を実施します。
中項目(2)	(2) 子どもが社会との関わりの中で、社会の責任ある一員として自立していくために必要な支援
小項目	①学校等における支援

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実績	R元年度実施計画	R 2 年度以降取り組み方針
①豊かな心の育成	学校教育課	様々な方面で活躍した方を講師に招き、講話を聴いた。	様々な方面で活躍した方を講師に招き、講話を聴いた	これまでの事業を見直し、地域出身者で活躍されている方を講師に招き講話していただく予定。	継続して実施する。
②適応指導教室の充実	学校教育課	市内2か所で適応指導教室を開設した。	市内2か所で適応指導教室を開設した。	市内2か所で適応指導教室を開設する。	継続して実施する。
③健やかな体の育成	学校教育課	総合的な子どもの基礎体力向上作戦(SKIP)を実践した。	総合的な子どもの基礎体力向上作戦(SKIP)を実践した。	総合的な子どもの基礎体力向上作戦(SKIP)を実践する。	継続して実施する。
④地域の人材の活用	学校教育課	学習や部活動等で協力をお願いしたいときに依頼をして活用した。	学習や部活動等で協力をお願いしたいときに依頼をして活用した。	学習や部活動等で協力をお願いしたいときに依頼をして活用させていただいた	継続して実施する。
⑤外国語指導助手(ALTの活用)	学校教育課	6名のALTが市内の8校の小学校、4校の中学校で勤務した。	6名のALTが市内の8校の小学校、4校の中学校で勤務した。	継続(3名入替有)	継続して実施する。(入替人数未定)
⑥地域の根ざした学校づくり	学校教育課	学校支援地域本部が中心となり、学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで子どもを育てる取り組んだ。	地域学校協働本部が中心となり、学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで子どもを育てる取り組んだ。(神守中においてコミュニティスクールを設置)	南小学校においてコミュニティスクールを設置予定。	継続して実施する。

大項目	(1) 子育ての支援
中項目(1)	1. 本市は、子どもの健やかな育ちを支援するため保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、及び協働し、次に掲げる施策を実施します。
中項目(2)	(2) 子どもが社会との関わりの中で、社会の責任ある一員として自立していくために必要な支援
小項目	②地域における支援

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実績	R元年度実施計画	R 2 年度以降取り組み方針
①異年齢世代交流の機会の提供	子育て支援課	市内全ての保育園、幼稚園、こども園において、小学生と園児が触れ合ったり、中学生が園に来て職場体験を行う等の異年齢交流や、園児が老人ホームに行ったり、園で行う敬老会に参加してもらったり等世代交流を行った。	市内全ての保育園、幼稚園、こども園において、小学生と園児が触れ合ったり、中学生が園に来て職場体験を行う等の異年齢交流や、園児が老人ホームに行ったり、園で行う敬老会に参加してもらったり等世代交流を行った。	市内全ての保育園、幼稚園、こども園において、小学生と園児が触れ合ったり、中学生が園に来て職場体験を行う等の異年齢交流や、園児が老人ホームに行ったり、園で行う敬老会に参加してもらったり等世代交流を行う。	各事業継続して実施する。
	学校教育課	・小学校で高齢者の方を招いて昔の遊びを学んだ ・中学校の生徒が小学校に訪問し部活動を行った ・小学校と中学校の児童会、生徒会と一緒に挨拶運動を行った ・津島高校が小学校へ訪問し、外国語の授業を行った 上記の様々な機会を持って交流した。	・小学校で高齢者の方を招いて昔の遊びを学んだ ・中学校の生徒が小学校に訪問し部活動を行った ・小学校と中学校の児童会、生徒会と一緒に挨拶運動を行った ・津島高校が小学校へ訪問し、外国語の授業を行った 上記の様々な機会を持って交流した。	異年齢世代交流の機会を持つよう取り組む。(どのような形で行くかは未定)	継続して実施する予定。
②地域のスポーツ活動の支援	社会教育課	総合型地域スポーツクラブ「津島スポーツクラブホワイトウイングズ」の活動を支援。地域の教育力の向上を図るため。スポーツ少年団では指導者講習会を3月3日(土)に実施。	総合型地域スポーツクラブ「津島スポーツクラブホワイトウイングズ」の活動を支援。地域の教育力の向上を図るため。スポーツ少年団では指導者講習会を3月2日(土)に実施。	総合型地域スポーツクラブの育成を継続して実施予定。スポーツ少年団指導者への講習会を3月7日(土)に開催予定。	総合型地域スポーツクラブの育成およびスポーツ少年団指導者への講習会を開催し、地域スポーツの活動を継続して支援する。
③親子で一緒に体験できるイベントの実施	社会教育課	2月3日(土)に「つしまおやこワクワク体験活動フェスティバル！」を開催し(一般参加者313人)、家族等で楽しめる体験活動や異世代間交流の場を提供した。 ・作って遊ぼう簡単紙工作 11月1日(水) 37人 神島田保育園 ・就学に向けて 1月26日(金) 16人 神守保育園	2月9日(土)に「つしまおやこワクワク体験活動フェスティバル！」を開催し(一般参加者508人)、家族等で楽しめる体験活動や異世代間交流の場を提供した。	子どもの社会体験や体験活動の推進と子育て支援団体との交流の場を継続して設け、子どものコミュニケーション能力向上や社会性を育む機会を提供する。	継続して実施する。
④郷土への愛着や誇りを育む学習や体験、交流の推進	社会教育課	「祭りを学ぶⅢ」として、7月9日(日)に事前学習、7月23日(日)に朝祭の車楽舟見学を実施した。小学4～6年生延べ60人の参加者があり、地域の祭りについての理解を深めた。	「祭りを学ぶⅣ」として、以下のとおり実施し地域の祭りについての理解を深めた。 ①事前学習会・・・7/21(土)【28名参加】 座学、狂言『千鳥』見学、お囃子体験、花切り、花付け体験 ②事前学習会・・・7/22(日)【28名参加】 人形づくり、車田、星大明社等見学 ③朝祭見学会・・・7/29(日)【台風接近のため中止】 観覧船に乗って朝祭見学、堀田家住宅での天王祭に関する展示の見学、学習のまとめ	「祭りを学ぶⅤ」として、7月7日(日)に事前学習、7月28日(日)に朝祭の車楽舟見学を実施する。小学4～6年生延べ60人の参加者を見込んでおり、地域の祭りについての理解を深める。 ①事前学習会・・・7/7(日) 津島神社、天王川公園周辺のフィールドワーク、津島祭祀図屏風(複製品)の見学、お囃子体験など ②朝祭見学会・・・7/28(日) 観覧船に乗って朝祭見学	「祭りを学ぶⅥ」として、事前学習、朝祭の車楽舟見学を実施する。小学生を対象に地域の祭りについての理解を深める。

大項目	(1) 子育ての支援
中項目(1)	1. 本市は、子どもの健やかな育ちを支援するため保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、及び協働し、次に掲げる施策を実施します。
中項目(2)	(2) 子どもが社会との関わりの中で、社会の責任ある一員として自立していくために必要な支援
小項目	④障がい児施策の充実

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実績	R 元年度実施計画	R 2 年度以降取り組み方針
①障がい児保育の促進	福祉課	支給決定者数170人(内訳 児童発達支援64人、放課後等デイサービス106人 保育所訪問支援2人)	支給決定者数186人(内訳 児童発達支援60人、放課後等デイサービス126人 保育所訪問支援1人)	引き続き支給決定者数は増加するものと見込む。各々の症状や希望に添ったサービスの提供に努める。	引き続き支給決定者数は増加するものと見込む。各々の症状や希望に添ったサービスの提供に努める。
	子育て支援課	市内9保育所・認定こども園で20名の障がい児を受け入れた。	市内9保育所・認定こども園で36名の障がい児を受け入れた。	継続して事業の推進に努める。	継続して事業の推進に努める。
②特別児童扶養手当の支給	子育て支援課	特別児童扶養手当支給件数 104件(児童数108人)に支給した。	特別児童扶養手当支給件数 105件(児童数110人)に支給した。	継続して事業を実施する。	継続して事業を実施する。
③障がい者医療費の支給	保険年金課	障がい者医療費の助成を行いました。障がい者医療費受給対象者数658人 うち子ども128人 精神障がい者医療費受給対象者数209人 うち子ども1人 (平成30年3月時点)	障がい者医療費の助成を行った。障がい者医療費受給対象者数673人 うち子ども123人 精神障がい者医療費受給対象者数237人 うち子ども1人 (平成31年3月時点)	障がいがある方の福祉の増進を図るため、医療費の助成を、今後も継続して実施する。	継続して実施する。
④特別支援教育就学奨励費の支給	学校教育課	市内の小中学校に通う児童生徒58名に対し、全期分と後期分を合わせて、2,610,860円を支給した。	市内の小中学校に通う児童生徒59名に対し、全期分と後期分を合わせて、2,618,654円を支給した。	継続	継続予定

大項目	(2) 子育て家庭の支援
中項目(1)	1. 本市は、子育てをしている家庭に気を配り、保護者が安心して子育てをすることができるように必要な支援を行います。
中項目(2)	
小項目	①子育て支援サービス

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実施計画	R2年度以降取り組み方針
①妊娠から子育て期までの切れ目ない支援の充実	健康推進課	子育て世代包括支援センター事業を開始し、母子健康手帳交付時に市民と保健部門、児童福祉部門の顔つなぎを行った。支援が必要な家庭を早期に把握し、妊娠から関係機関と連携して支援を行った。	子育て世代包括支援センター事業として、母子健康手帳交付時に市民と保健部門、児童福祉部門の顔つなぎを実施している。また、支援が必要な家庭を早期に把握し、妊娠から関係機関と連携して支援を行った。	妊娠から子育て期までの切れ目ない支援を継続して実施する。	継続して実施する。
②地域子育て支援センターの充実	子育て支援課	東・西地区子育て支援センター延べ利用人数2,1631人 親子あそび講座322人 育児講座136人 青空保育114人 すくすくひろば335人 はじめのいっぽ133人 親子交流教室154組 育児相談491人(保健師・栄養士相談を含む)個別相談予約制74人	東・西地区子育て支援センター延べ利用人数2,1522人 親子あそび講座341人 育児講座124人 青空保育435人 すくすくひろば192人 はじめのいっぽ124人 親子交流教室167組 育児相談390人(保健師・栄養士相談を含む)個別相談予約制60人	言語の個別相談は、専門職の都合により、毎月4回から2回となる その他の事業は継続して実施	継続して実施する。
③子育て支援サービスの情報提供の充実	子育て支援課	子育て支援アプリ及びウェブサイト「つしまっち」公開開始 子育てカレンダーを毎月発行し市内のひろば・園開放など一覧で情報提供する。 情報紙「すくすく」毎月発行 ホームページで情報提供 ガイドブック29年度版29年4月発行3000部	子育て支援アプリ及びウェブサイト「つしまっち」公開 子育てカレンダーを毎月発行。市内のひろば・園開放などアンケートを行い改善し、一覧で情報提供する。 情報紙「すくすく」毎月発行 ホームページで情報提供 ガイドブック30年度版30年4月発行5000部	子育て支援アプリ及びウェブサイト「つしまっち」公開 子育てカレンダーを毎月発行。市内のひろば・園開放などアンケートを行い改善し、一覧で情報提供する。 情報紙「すくすく」毎月発行 ホームページで情報提供 ガイドブック31年度版31年4月発行5000部	継続して実施する。
④切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策の充実	健康推進課	妊婦とその家族の産後の不安解消のため、両親教室の実施や地域の子育て支援サービスとのつなぎを妊娠から行い、産後の生活について具体的なイメージを持ってもらえるよう支援した。低出生体重児は増加傾向にあるため、その要因となる女性のやせや喫煙などの習慣を改善するために、思春期から啓発を行った。	妊婦とその家族の不安解消のため、両親教室の実施や地域の子育て支援サービスとのつなぎを妊娠から行い、産後の生活について具体的なイメージを持ってもらえるよう支援した。低出生体重児は増加傾向にあるため、その要因となる女性のやせや喫煙などの習慣を改善するために、思春期から啓発を行った。	妊娠から子育て期までの切れ目ない支援を継続して実施する。	継続して実施する。
⑤子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり	子育て支援課	地域子育て支援センターを中心に、親子あそび講座などを実施した。また気軽に相談ができるように各子育て支援センターにおいて利用者支援事業を実施した。	親子遊び講座を年6回実施した。利用者支援事業において子育て相談288件、10ヶ月訪問171件実施した。	親子遊び講座を開催。利用者支援事業において子育て相談、10ヶ月訪問を実施する。	継続して実施する。
	健康推進課	母子健康手帳交付時に、子育てガイドブックの紹介を行い、妊娠・出産・育児に必要な情報提供を行った。 また、乳幼児健康診査において、親子のふれあいや遊びの提供を通して育児支援となる子育て支援センター、育児サークル、ボランティア等の情報提供をし、子育てのイメージができるような場づくりを実施した。	母子健康手帳交付時に、妊娠から子育て期まで切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター事業」の案内とともに、妊娠・出産・育児に必要な情報提供を行った。 また、乳幼児健康診査において、親子のふれあいや遊びの提供を通して育児支援となる子育て支援センター、育児サークル、ボランティア等の情報提供をし、子育てのイメージができるような場づくりを実施した。	妊娠から子育て期までの切れ目ない支援を継続して実施する。	継続して実施する。

⑥子育てサークルの育成	子育て支援課	サークルリーダー会年3回・サークル交流会年3回開催 5サークル立ち上げ(現在15サークル)	サークルリーダー会年3回・サークル交流会年3回開催 3サークル立ち上げ(現在13サークル)	年に3回、年齢別情報交換会を開催し、サークル活動の充実と共に、子育ての不安や悩みを解消できるように相談や意見交換を行う	母親のニーズに合わせながら、実施をしていく。
⑦子育てサロンの開催	子育て支援課	蛭間地区コミュニティセンターで、毎月第2月曜日(午前10時～午後3時)、第4水曜日(午前10時～11時30分)に子育てサロン「おたまじゃくし」を開催した。 開催実績:17回	蛭間地区コミュニティセンターで、毎月第2月曜日(午前10時～午後3時)、第4水曜日(午前10時～11時30分)に子育てサロン「おたまじゃくし」を開催した。 開催実績:16回	蛭間地区コミュニティセンターで、毎月第2月曜日(午前10時～午後3時)、第4水曜日(午前10時～11時30分)に子育てサロン「おたまじゃくし」を開催する。 開催予定:17回	継続して実施
⑧園開放の継続	子育て支援課	共存園保育所(毎週月曜日)45回 利用人数252人 新開保育園(毎週金曜日)47回 利用人数140人	共存園保育所(毎週月曜日)42回 利用人数203人 新開保育園(毎週金曜日)49回 利用人数278人	共存園保育所(毎週金曜日) 新開保育園(毎週月曜日) 昨年度までの曜日を 入れ替えて開催する。	継続して実施
⑨延長保育の実施	子育て支援課	共存園保育所 登録人数6名 年間利用人数延べ503人 新開保育園 登録人数20名 年間利用人数延べ1,061人	共存園保育所 登録人数7名 年間利用人数延べ1,053人 新開保育園 登録人数13名 年間利用人数延べ636人	継続して実施する。	継続して実施する。
⑩公立・民間保育所での一時預かりの継続	子育て支援課	共存園保育所 登録人数407名 年間利用人数延べ565人 新開保育園 登録人数405名 年間利用人数延べ597人	共存園保育所 登録人数50名 年間利用人数延べ697人 新開保育園 登録人数67名 年間利用人数延べ872人	継続して実施する。	継続して実施する。
⑪病児・病後児保育の充実	子育て支援課	神島田保育園 登録人数132名 実利用者数40名 延べ利用者数 105回	神島田保育園 登録人数128名 実利用者数38名 延べ利用者数 95回	継続して実施する。	継続して実施する。
⑫休日保育の継続	子育て支援課	東愛宕保育園 登録人数 25名 実利用者数11名 延べ利用者数 244回	東愛宕保育園 登録人数 16名 実利用者数16名 延べ利用者数 459回	継続して実施する。	継続して実施する。
⑬児童養護施設等の短期利用	子育て支援課	実績なし。	実績なし。	継続して実施する。	継続して実施する。
⑭家庭教育学級の推進	社会教育課	東小学校区を重点地域指定し、話し方や読み聞かせ、工作教室等の各種事業を実施して家庭や地域の教育力向上推進に向けた事業を展開した。	高台寺小学校区を重点地域指定し、家族ふれあい教室やハッピートーク講習会、星空教室等の各種事業を実施して家庭や地域の教育力向上推進に向けた事業を展開した。	高台寺小学校区を重点地域指定し、話し方や読み聞かせ、星空等の各種事業を実施して家庭や地域の教育力向上推進に向けた事業を展開する。	ひとつの小学校区を重点地域に指定し、様々な教室等の事業を実施して家庭や地域の教育力向上推進に向けた事業を展開する。
⑮子育て支援ボランティアの育成	福祉課(社協)	未実施	未実施	今後も行う予定はない。	
⑯小学校区家庭教育の推進	社会教育課	PTA組織を中心としたあいさつ運動や交通安全教室の実施により保護者同士の連帯を深め、家庭教育や地域の教育力向上を推進した。	PTA組織を中心としたあいさつ運動や交通安全教室の実施により保護者同士の連帯を深め、家庭教育や地域の教育力向上を推進した。	PTA組織を中心としたあいさつ運動や交通安全教室の実施により保護者同士の連帯を深め、家庭教育や地域の教育力向上を推進する。	PTA組織を中心としたあいさつ運動や交通安全教室の実施により保護者同士の連帯を深め、家庭教育や地域の教育力向上を推進する。
⑰親子ロードショーの開催	社会教育課	親子や家族で楽しめる「おいまつシネマ上映会」を開催(8月8日(火)～10日(木)、参加延101人)。平和教育アニメーション等を上映し子育てを支援した。	親子や家族で楽しめる「おいまつシネマ上映会」を開催(8月13日(火)～15日(木))。平和教育アニメーション等を上映し子育てを支援した。	親子や家族で楽しめる「おいまつシネマ上映会」を開催。平和教育アニメーション等を上映し子育てを支援する。	継続して実施する。

大項目	(2) 子育て家庭の支援
中項目(1)	1. 本市は、子育てをしている家庭に気を配り、保護者が安心して子育てをすることができるよう必要な支援を行います。
中項目(2)	
小項目	②経済的支援

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実績	R元年度実施計画	R 2 年度以降取り組み方針
①ひとり親家庭等の支援	子育て支援課	ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、制度の周知を徹底した。	ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、制度の周知を徹底した。	ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、制度の周知を徹底する。	ひとり親等世帯の経済的支援を図るため、制度の周知を徹底する。
②子育て応援券の交付	子育て支援課	交付対象者:354人 使用額:6,806,500円	交付対象者:359人 使用額:7,212,500円 平成31年3月31日までに生まれた児童に対して子育て応援券を交付した。	期限内の交付済応援券の支払は継続する。	期限内(3月末)の交付済応援券の支払は継続する。
③保育料の一部免除	子育て支援課	市内の家庭実態と他市の状況を調査研究を行った。	市内保育所及び幼保連携型認定こども園等と連携し保護者の家庭状況を把握に努めた。	市内保育所及び幼保連携型認定こども園等と連携し保護者の家庭状況を把握し、一部免除が必要な家庭に対して援助を実施する。	市内保育所及び幼保連携型認定こども園等と連携し保護者の家庭状況を把握し、一部免除が必要な家庭に対して援助を実施する。
④幼稚園就園奨励費の支給	子育て支援課	就園奨励費対象児童514人の保護者に対し支給した。	就園奨励費対象児童487人の保護者に対し支給した。	幼稚園就園奨励費支給を実施する。	継続して実施する。
⑤就学援助費の支給	学校教育課	申請のあった延1,119人(実人数476人)に合計43,825,845円を支給した。	申請のあった延1,669人(実人数439人)に合計37,284,191円を支給した。	就学援助費支給を実施する。	継続して実施する。
⑥遺児手当の支給	子育て支援課	受給者273人(児童数 421人)に支給した。	受給者313人(児童数 473人)に支給した。	11月から支給月を4か月ごとから隔月ごとに変更し、実施する。	支給月を隔月に変更し、実施する。
⑦児童扶養手当の支給	子育て支援課	受給者531人(児童数782人)に支給した。	受給者542人(児童数 802人)に支給した。	11月から支給月を4か月ごとから隔月ごとに変更し、実施する。	支給月を隔月に変更し、実施する。
⑧未婚のひとり親家庭の支援	子育て支援課	保育所利用者負担金及び幼稚園就園奨励費補助金に対する寡婦(夫)控除みなし適用申請を6人受付した。	保育所利用者負担金に対する寡婦(夫)控除みなし適用申請を4人受付した。	寡婦(夫)控除みなし適用の該当者に対して周知を徹底し、申請を促す。	継続して実施する。
⑨母子・父子家庭医療費の支給	保険年金課	母子・父子家庭医療費の助成を行った。受給対象者数1,214人 うち子ども664人(平成30年3月時点)	母子・父子家庭医療費の助成を行った。受給対象者数1,175人 うち子ども644人(平成31年3月時点)	母子・父子家庭の父母及び児童の健康の保持増進を図るため、医療費の助成を、今後も継続して実施する。	継続して実施する。
⑩母子家庭等の日常生活の支援	子育て支援課	対象者に対して制度の周知を徹底した。	利用者が見込まれないため、制度を廃止した。	—	—
⑪母子家庭自立支援のための給付金の支給	子育て支援課	高等職業訓練促進給付金を対象者1名に支給した。	自立支援給付金を対象者3名に支給した。	自立支援給付金支給をした。	継続して実施。

大項目	(2) 子育て家庭の支援
中項目(1)	2. 本市は、子育てをしている家庭に対し、仕事と子育ての両立を支援する環境づくりに努めます。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実績	R元年度実施計画	R 2 年度以降取り組み方針
①仕事と子育ての両立のための広報・啓発・情報	産業振興課	仕事と子育ての両立に関する相談窓口やセミナーについて、情報提供を行った。	仕事と子育ての両立に関する相談窓口やセミナーについて、情報提供を行った。	仕事と子育ての両立に関する相談窓口やセミナーについて、情報提供を行う。	仕事と子育ての両立に関する相談窓口やセミナーについて、情報提供を行う。
②男女共同参画意識の啓発	人権推進課	広報紙、ホームページ、チラシなどで男女共同参画について意識啓発を図るとともに、次の講座を実施した。 ・人権問題学習講座「男の料理教室」南文化センター 14人 ・男女共同参画セミナー「効果的な褒め方・叱り方」児童科学館 82人 ・男女共同参画セミナー「子育て中のママ・パパ再就職応援セミナー」生涯学習センター 9人	広報紙、ホームページ、チラシなどで男女共同参画について意識啓発を図るとともに、次の講座を実施した。 ・人権問題学習講座「男性の料理教室」～家族にサンキュー～ 中央公民館 5人 ・男女共同参画セミナー「わかりやすく話すってどういうこと？」児童科学館 84人 ・男女共同参画セミナー「子ども向けメディアにあらわれる『ジェンダー(社会的性別)』」高台寺小学校 20人	広報紙、ホームページ、チラシなどで男女共同参画について意識啓発を図るとともに、講座を実施します。	継続して実施する。
③ファミリー・サポートの充実	子育て支援課	依頼会員 488人 提供会員 143人 両方会員 70人 延利用人数 1,053人	依頼会員 469人 提供会員 157人 両方会員 63人 延利用人数 1,381人	継続して実施する。	継続して実施する。
④雇用情報の提供	産業振興課	求人情報を窓口付近に掲示し、ハローワークを広く紹介した。	求人情報を窓口付近に掲示し、ハローワークを広く紹介した。	求人情報を窓口付近に掲示し、ハローワークを広く紹介する。	求人情報を窓口付近に掲示し、ハローワークを広く紹介する。

大項目	(2) 子育て家庭の支援
中項目(1)	3. 本市は、虐待、体罰、いじめ等を受けた子どもを迅速かつ適切に救済するため、関係機関と協力して、情報を共有し、子育てをしている家庭に対し必要な支援を行います。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実績	R元年度実施計画	R 2 年度以降取り組み方針
①妊娠からの児童虐待防止対策の充実	健康推進課	妊娠届出時に全数妊婦の面接を行い、妊娠期からの支援を行った。乳幼児健診の未受診者を訪問し、全数把握に努めた。	妊娠届出時全妊婦と面接を行い、妊娠期から相談しやすい体制を整備した。 また、支援が必要な方に対して、子育て世代包括支援センター事業や要保護児童対策地域協議会の場を利用し、児童虐待部門と連携しながら支援を実施した。	妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を継続して実施する。	継続して実施する。
	子育て支援課	要支援妊婦、特定妊婦に対し、保健師と連携し、妊娠期から家庭訪問や面接等を行い、出産後の安心・安全な育児の為に必要な支援を行った。	要支援妊婦、特定妊婦に対し、保健師と連携し、妊娠期から家庭訪問や面接を行い、出産後の安心・安全な育児の為に必要な支援を行った。	要支援妊婦、特定妊婦に対し、保健師と連携し、出産後の安心・安全な育児の為に必要な支援を継続して行っていきます。	要支援妊婦、特定妊婦に対し、保健師と連携し、出産後の安心・安全な育児の為に必要な支援を継続して行っていきます。
②乳児家庭全戸訪問の実施	子育て支援課	訪問対象児数 341人 訪問実施数 332人 要経過観察児数 86人	訪問対象児数 363人 訪問実施数 353人 要経過観察児数 150人	継続して実施する。	継続して実施する。

大項目	(3) 子どもの安全・安心を保証する取組
中項目(1)	1. 本市は、保護者、学校等関係者及び地域住民等と連携し、子どもが有害な環境、犯罪、災害等の被害から守られるよう必要な取組を実施するとともに、子どもが自らの心身を守ることができるよう必要な教育を行います。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実績	R 元年度実施計画	R 2 年度以降取り組み方針
①防犯教育の促進	市民協働課	幼稚園、学校等において防犯教室、講話等を10回実施した。(地域住民対象の事業含む)	幼稚園、学校等において防犯教室、講話等を10回実施した。(地域住民対象の事業含む)	幼稚園、学校等において防犯教室、講話等を6回実施します。(地域住民対象の事業含む)	幼稚園、学校等において防犯教室、講話等を増やす。
②交通安全教育の推進	市民協働課	町内・団地・保育園の単位で計5回実施した。	町内・団地・保育園の単位で計3回実施した。	町内・団地・保育園の単位で計3回実施する。	町内・団地・保育園の単位で計3回実施する。
③防犯カメラの整備	市民協働課	津島駅前自転車駐車場2基、津島駅東西各1基、今市場町4丁目交差点2基の防犯カメラを維持管理している。	津島駅前自転車駐車場2基、津島駅東西各1基、今市場町4丁目交差点2基の防犯カメラを維持管理した。	今後も防犯カメラの推進をはかる。	今後も防犯カメラの推進をはかる。
④「子ども110番の家」の充実	市民協働課	平成29年度現在214件登録	平成30年度現在214件登録	「子ども110番の家」の継続実施について、学校に依頼する。	継続して実施する。
	学校教育課	「子ども110番の家」の継続実施について、学校に依頼した。	「子ども110番の家」の継続実施について、学校に依頼した。	「子ども110番の家」の継続実施について、学校に依頼する。	継続して実施する。
⑤チャイルドシートの正しい使用の徹底	市民協働課	津島市広報において3度掲載するとともに、街頭にてサイン板をかかげ交通安全広報を4回実施した。	津島市広報において3度掲載するとともに、街頭にてサイン板をかかげ交通安全広報を3回実施した。	津島市広報において3度掲載するとともに、街頭にてサイン板をかかげ交通安全広報を3回実施する。	継続して実施する。
⑥地域安全広報活動の推進	市民協働課	街頭キャンペーンを17回実施した。	街頭キャンペーンを17回実施した。	街頭キャンペーンを20回実施する。	街頭キャンペーンを20回実施する。
⑦パトロール活動の推進	市民協働課	ボランティア団体等による防犯パトロールを27回実施した。	ボランティア団体等による防犯パトロールを31回実施した。	ボランティア団体等による防犯パトロールを35回実施する。	ボランティア団体等による防犯パトロールを35回実施する。
⑧各種街頭啓発活動の推進	社会教育課	7月6日(木)、11月16日(木)に関係機関と協力して名鉄津島駅などで実施し(総参加者45人)、非行防止や犯罪被害防止を市民等に呼びかけをした。	7月4日(水)、11月14日(水)に関係機関と協力してヨシヅヤ本店で実施し(総参加者46人)、非行防止や犯罪被害防止を市民等に呼びかけをした。	県の青少年健全育成強調月間にあわせ関係機関と協働して青少年の健全育成についての理解等を啓発していく。	継続して実施する。

大項目	(3) 子どもの安全・安心を保证する取組
中項目(1)	2. 本市は、子どもが安全に安心して暮らすことができるよう、公共施設等の整備その他必要な施策を行います。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実施計画	R2年度以降取り組み方針
①学校施設の整備	学校教育課	東小学校で下水道の接続工事、北小学校で体育館内にトイレを整備した。	西小学校と神守小学校で揚水ポンプの取替修繕、蛭間小学校と暁中学校の放送設備修繕、暁中学校の体育館雨樋取替修繕、神島田小学校西校舎屋上防水工事を行った。	12小中学校のエアコン設置工事を行う。	市内8小学校のトイレを洋式化する予定。また、非構造部材の耐震化事業を行う予定(藤浪中学校武道場のつり天井を撤去)。
②公園の整備維持管理	都市整備課	市が管理する55箇所の公園の遊具等の点検 老朽化した遊具の修繕及び撤去 公園内の樹木の剪定・伐採 神守地区に公園を新設するための用地を取得	市が管理する遊具がある55箇所の公園の遊具等の点検 老朽化した遊具の修繕及び撤去 公園内の樹木の剪定・伐採 天王川公園の藤棚改修 神守地区に公園を新設するための用地取得及び盛土造成	市が管理する遊具がある55箇所の公園の遊具等の点検 老朽化した遊具の修繕及び撤去 公園内の樹木の剪定・伐採 天王川公園の藤棚改修 神守第1公園・第2公園の造成	市が管理する遊具がある55箇所の公園の遊具等の点検 老朽化した遊具の修繕及び撤去 公園内の樹木の剪定・伐採 天王川公園の藤棚改修 神守第1公園・第2公園の造成
③道路の整備維持管理	都市整備課	側溝整備延長 L=250.9m 道路補修延長 L=2887.1m 歩道整備延長 L=88.0m	側溝整備延長 L=249.7m 道路補修延長 L=2565.8m 歩道整備延長 L=1012.5m	側溝整備延長 L=600.0m 道路補修延長 L=1600.0m 歩道整備延長 L=110.0m	未定

大項目	(4) 子どもの参画の推進
中項目(1)	1. 子どもが主体的に参加し、及び意見を表明することができるよう、子どもが参画する会議の開催その他の必要な支援を行うとともに、子供の意見を尊重するよう努めます。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実施計画	R2年度以降取り組み方針
①つしま子ども会議の開催	学校教育課	各学校の代表2名が参加し、子どもにとって身近なテーマを取り上げ、答弁を行った。	未実施	未定	未定
②子どもの意見の尊重	子育て支援課	子どもを対象にアンケート等を実施した部署はなかった。 児童館では来館者アンケートで児童の意見を徴収した。	子どもを対象にアンケート等を実施した部署はなかった。 児童館では来館者アンケートで児童の意見を徴収した。	アンケート等を実施する場合は子どもを対象とするように全庁的に啓発する。 また、児童館等児童を対象とする事業の中で意見を徴収する。	継続して実施する。

大項目	(5) 子どもの育成に係る相談体制の充実等
中項目(1)	1. 本市は、保育、教育、福祉及び保健の分野における子どもに関する相談を行う部署において密接な連携を図り、虐待、体罰、いじめ等の防止、その他の子どもの育成に係る総合的な相談体制の充実を図ります。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実施計画	R2年度以降取り組み方針
①家庭訪問による早期発見	子育て支援課	乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業等による家庭訪問を行い、虐待の早期発見に努めた。(乳児家庭全戸訪問事業:332件、養育支援訪問事業:75件338回訪問)	乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業等による家庭訪問を行い、虐待の早期発見に努めた。(乳児家庭全戸訪問事業:353件、養育支援訪問事業:63件372回訪問)	乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業等による家庭訪問を行い、虐待の早期発見に努めていく。	継続して実施する。
	学校教育課	各学校が家庭訪問・地域訪問を実施し、家庭の様子を把握した。	各学校が家庭訪問・地域訪問を実施し、家庭の様子を把握した。	各学校が家庭訪問・地域訪問を実施し、家庭の様子を把握する。	継続予定
②学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実	健康推進課	子どもの自己肯定感の向上に向けて、市内小中学校に健康教育を実施した。 思春期教育 小学校8校1,107人 中学校4校564人 養護教諭研修会等に参加し、学校等関係機関と学童期・思春期の健康課題を共有した。	子どもの自己肯定感の向上に向けて、市内小中学校に健康教育を実施した。 思春期教育 小学校8校1,048人 中学校4校556人 生活習慣に関するアンケートを集計し、学校等関係機関と学童期・思春期の健康課題を共有した。	子どもの自己肯定感の向上に向けて、市内小中学校と連携し、健康教育を実施する。	継続して実施する。
③虐待を防ぐための各種知識の普及啓発	子育て支援課	4月 市政の広場に「家庭児童相談室のご案内」掲載 6月 家庭児童相談室案内チラシ配布 10月 里親および特別養子縁組に関するポスター及びリーフレット配布 10月26日 児童虐待防止に関する研修会開催 51名出席 11月 市政の広場に「虐待防止月間」掲載 児童虐待防止推進月間啓発リーフレット配布	4月 市政の広場に「家庭児童相談室のご案内」掲載 6月 家庭児童相談室案内チラシ配布 10月 里親および特別養子縁組に関するポスター及びリーフレット配布 10月24日 児童虐待防止に関する研修会開催 60名出席 11月 市政の広場に「虐待防止月間」掲載 児童虐待防止推進月間啓発リーフレット配布	4月 市政の広場に「家庭児童相談室のご案内」掲載 6月 家庭児童相談室案内チラシ配布 10月 里親および特別養子縁組に関するポスター及びリーフレット配布 11月27日 児童虐待防止に関する研修会開催 11月 市政の広場に「虐待防止月間」掲載 児童虐待防止推進月間啓発リーフレット配布	4月 市政の広場に「家庭児童相談室のご案内」掲載 6月 家庭児童相談室案内チラシ配布 10月 里親および特別養子縁組に関するポスター及びリーフレット配布 11月 児童虐待防止に関する研修会開催 11月 市政の広場に「虐待防止月間」掲載 児童虐待防止推進月間啓発リーフレット配布
	学校教育課	毎年、県主催で「児童虐待防止研修会」が開催されており、その案内を各小中学校に周知した。	毎年、県主催で「児童虐待防止研修会」が開催されており、その案内を各小中学校に周知した。	毎年、県主催で「児童虐待防止研修会」が開催されており、その案内を各小中学校に周知する。	継続して実施する。
④育てにくさを感じる親に寄り添う相談体制の充実	健康推進課	乳幼児健康診査において、子どもの発達過程についてのプリントを提示し、保護者に発達過程の認知を促し、必要時、早期に関わりをもてるよう働きかけた。 子どもの発達の課題や養育者の問題に応じて、保健、福祉、教育、医療等各部門と連携し、適切な支援に結びつくよう支援を実施した。	乳幼児健康診査において、子どもの発達過程についてのプリントを提示し、保護者に発達過程の認知を促し、必要時、早期に関わりをもてるよう働きかけた。 子どもの発達の課題や養育者の問題に応じて、保健、福祉、教育、医療等各部門と連携し、適切な支援に結びつくよう支援を実施した。	乳幼児健康診査等の機会を利用し、早期に関わりをもつことを重視し、継続的な支援を実施する。	継続して実施する。
⑤障がい児等の相談体制の充実	福祉課	サービスの支給決定をしている障がい児の100%が、障害児相談支援を利用した。	サービスの支給決定をしている障がい児の100%が、障害児相談支援を利用した。	サービスの支給決定をしている障がい児の100%が、障害児相談支援を利用できるよう推進する。	継続して実施する。
⑥ひとり親家庭等の相談体制の充実	子育て支援課	母子・父子自立支援員相談件数 579件を実施。	母子・父子自立支援員相談件数 526件実施。	母子・父子自立支援員がひとり親家庭等の相談を実施する。	継続して実施する。

大項目	(5) 子どもの育成に係る相談体制の充実等
中項目(1)	2. 本市は、子どもに関する相談を行う関係機関等との連携を深めることにより、虐待、体罰、いじめ等の防止、その他の子どもの育成に係る相談体制の充実に努めます。
中項目(2)	
小項目	

細目	担当課	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実施計画	R2年度以降取り組み方針
①児童虐待の早期発見・早期対応のための体制づくり	子育て支援課	10月26日 2月21日 要保護児童対策地域協議会開催 ネットワーク会議12回開催 サポートチーム会議開催及び参加12回した。	10月24日 2月20日 要保護児童対策地域協議会開催 ネットワーク会議12回開催 サポートチーム会議開催及び参加7回した。	5月22日 要保護児童対策地域協議会開催 ネットワーク会議12回開催 サポートチーム会議必要に応じて適宜開催する。	5月20日 要保護児童対策地域協議会開催予定 ネットワーク会議12回開催 サポートチーム会議必要に応じて適宜開催していく。
	学校教育課	毎月各学校から、保護が必要又は心配されている児童生徒の報告が教育委員会に上がってくる。それをとりまとめ、月1回開催される要保護ネットワーク会議に参加して報告した。	毎月各学校から、保護が必要又は心配されている児童生徒の報告が教育委員会に上がってくる。それをとりまとめ、月1回開催される要保護ネットワーク会議に参加して報告した。	毎月各学校から、保護が必要又は心配されている児童生徒の報告が教育委員会に上がってくる。それをとりまとめ、月1回開催される要保護ネットワーク会議に参加して報告する。	継続して実施する。
②相談体制、ネットワークの強化	子育て支援課	面接・電話・訪問での相談を行った。 新規:面接140件、電話176件、訪問60件のべ;面接445件、電話488件、訪問539件の相談があった。必要に応じ他機関と連携を取り、ネットワークの強化に努めた。	面接・電話・訪問での相談を行った。 新規:面接136件、電話185件、訪問56件のべ;面接488件、電話483件、訪問5572件の相談があった。必要に応じ他機関と連携を取り、ネットワークの強化に努めた。	面接・電話・訪問での相談を行う。 必要に応じ他機関と連携を取り、ネットワークの強化に努める。	面接・電話・訪問での相談を行います。 必要に応じ他機関と連携を取り、ネットワークの強化に努めていきます。
	学校教育課	要保護ネットワーク会議で各関係機関と情報交換を行い、必要に応じて連携を取って対応した。	要保護ネットワーク会議で各関係機関と情報交換を行い、必要に応じて連携を取って対応した。	要保護ネットワーク会議で各関係機関と情報交換を行い、必要に応じて連携を取って対応する。	継続して実施する。

大項目	(6) 虐待、体罰、いじめ等の救済等
中項目 (1)	1. 本市は、保護者、学校等関係者及び地域住民等並びに関係機関と連携し、虐待、体罰、いじめ等の防止、相談及び救済のために必要な措置を講じます。
中項目 (2)	
小項目	

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実績	R 元年度実施計画	R 2 年度以降取り組み方針
①ネットワークの強化	子育て支援課	警察、児相、学校、主任児童委員等地域の関係機関並びに保護者との連携を強化し、虐待の早期発見早期対応に努めた。 虐待通告件数:23件	警察、児相、学校、主任児童委員等地域の関係機関並びに保護者との連携を強化し、虐待の早期発見早期対応に努めた。 虐待通告件数:29件	警察、児相、学校、主任児童委員等地域の関係機関並びに保護者との連携を強化し、虐待の早期発見早期対応に努める。	継続して実施する。

大項目	(6) 虐待、体罰、いじめ等の救済等
中項目 (1)	2. 学校等関係者及び地域住民等は、常に子どもに気を配るとともに、虐待、体罰、いじめ等を受けていると思われる子どもを発見した時は、直ちに市又は関係機関に通報します。
中項目 (2)	
小項目	

細目	担当課	H 2 9 年度実績	H 3 0 年度実績	R 元年度実施計画	R 2 年度以降取り組み方針
①学校での相談体制の充実	学校教育課	スクールカウンセラーを配置したり、家庭児童相談室と連携した。	スクールカウンセラーを配置し、相談しやすい体制を作っている。また、学校、市教委、家庭児童相談室と連携して対応した。	スクールカウンセラーを配置し、相談しやすい体制を作っている。また、学校、市教委、家庭児童相談室と連携して対応する。	継続して実施する。
②スクールカウンセラーの配置	学校教育課	県から6名の配置(小学校は2名で巡回、中学校は各校1名)があった。また、市で雇用した2名が小中学校を巡回した。	県から6名の配置(小学校は2名で巡回、中学校は各校1名)があった。また、市で雇用した2名が小中学校を巡回した。	県から6名の配置(小学校は2名で巡回、中学校は各校1名)があり、また市で雇用した2名が小中学校を巡回する。	継続して実施する。